



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 ロート製薬株式会社

コード番号 4527

URL <http://www.rohto.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉野 俊昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 斉藤 雅也 (TEL) 06-6758-1211

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日 平成29年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	78,498	10.1	8,655	33.9	8,754	28.3	5,647	34.8
29年3月期第2四半期	71,298	△7.8	6,465	△9.9	6,822	△9.1	4,191	△14.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 6,209百万円(—%) 29年3月期第2四半期 △766百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	49.58	49.37
29年3月期第2四半期	36.83	36.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	187,409	123,305	65.3
29年3月期	181,543	118,436	64.7

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 122,318百万円 29年3月期 117,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	11.00	21.00
30年3月期	—	11.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	6.7	16,800	8.7	16,900	5.9	10,500	4.9	92.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	117,936,284株	29年3月期	117,936,284株
30年3月期2Q	4,018,809株	29年3月期	4,021,078株
30年3月期2Q	113,917,155株	29年3月期2Q	113,792,632株

(注) 自己株式数には、従業員持株E S O P信託の保有する当社株式数(期末自己株式数 29年3月期 2,300株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、人手不足の深刻化や海外の政治的リスク、新興国の景気動向など懸念材料もあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは顧客志向の新製品開発やマーケティング活動により新規分野への展開を図るとともに、既存分野におきましても消費者ニーズの変化に対応した高付加価値の製品を開発し、市場の活性化に努めてまいりました。

その結果、売上高は784億9千8百万円（前年同期比 10.1%増）となりました。日本においては、「Vロートプレミアム」や「肌ラボ白潤プレミアム」など高付加価値品が好調なことに加えインバウンド需要も寄与しております。海外においても中国での回復傾向が継続しており、アメリカやヨーロッパも増収に寄与いたしました。

利益面につきましては、新規分野への先行投資が継続しているものの、売上が好調に推移したことに加え販売費及び一般管理費の効率的活用に努めました結果、営業利益は86億5千5百万円（同 33.9%増）、経常利益は87億5千4百万円（同 28.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は56億4千7百万円（同 34.8%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(日本)

外部顧客への売上高は、518億4千3百万円（前年同期比 10.3%増）となりました。

主力のアイケア関連品は、高機能眼科用薬「Vロートプレミアム」や新製品の「Vロートアクティブプレミアム」が好調なことに加え、発売30周年を記念して「ドラゴンクエスト」とコラボした「ロートジー」、「ロートゴールド40」なども順調でありました。スキンケア関連品につきましても、新製品の「肌ラボ白潤プレミアム」や「オバジC 酵素洗顔パウダー」、日やけ止め「スキンアクアスーパーモイスチャージェル」などが堅調で、さらに「メラノCC 薬用しみ集中対策美容液」などインバウンド需要も好調でありました。また、内服・食品関連品も漢方・生薬ブランド「和漢箋」から中年期以降の物忘れを改善する新製品「キオグッド顆粒」などが増収に寄与いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が好調に推移したことに加え販売費及び一般管理費の効率的活用に努めました結果、64億1千3百万円（同 30.2%増）となりました。

(アメリカ)

外部顧客への売上高は、33億6千7百万円（前年同期比 8.7%増）となりました。

米国経済が個人消費の堅調な推移により緩やかな回復の兆しを見せてきており、主力のリップクリームも回復傾向となりました。目薬についても「ロートドライエイド」の発売もあり堅調に推移いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が堅調に推移したことに加え広告費及び販売促進費の効率的活用に努めたことにより、1億5千6百万円の損失（前年同期のセグメント損失は4億8千1百万円）となりました。

(ヨーロッパ)

外部顧客への売上高は、40億8千5百万円（前年同期比 12.3%増）となりました。

売上につきましては、為替の影響があったものの、ダクス・コスメティクス社が2ケタ増収となるなど順調に推移いたしました。主力の消炎鎮痛剤「ディーブヒート」シリーズは堅調でありました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、広告費及び販売促進費の効率的活用に努めたことにより2億9千1百万円（同 5.1%増）となりました。

(アジア)

外部顧客への売上高は、181億7千8百万円（前年同期比 9.5%増）となりました。

売上につきましては、中国において売上が回復してきたことにより増収となりました。特に、主力の目薬や肌ラボが増収に寄与いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が回復してきたことに加え広告費及び販売促進費の効率的活用に努めたことにより、18億7千4百万円（同 16.0%増）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客への売上高は、10億2千3百万円（前年同期比 5.1%増）となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、8千3百万円（同 58.2%増）となりました。

（注）上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は1,874億9百万円となり、前連結会計年度末より58億6千5百万円増加いたしました。これは、投資有価証券が26億9千万円、電子記録債権が19億4千2百万円、原材料及び貯蔵品が14億8千9百万円、商品及び製品が9億5千5百万円それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が18億1千9百万円減少したこと等によるものであります。

負債総額は641億3百万円となり、前連結会計年度末より9億9千6百万円増加いたしました。これは、支払手形及び買掛金が25億3百万円、短期借入金が8億7千4百万円、電子記録債務が3億2千3百万円、債務保証損失引当金が2億9千5百万円それぞれ増加した一方、未払費用が34億3千4百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては1,233億5百万円となり、前連結会計年度末より48億6千9百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が40億4千6百万円、その他有価証券評価差額金が6億4千8百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億4千8百万円増加し、238億1千4百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、58億4千6百万円と前年同期に比べ23億2千1百万円増加しました。これは、税金等調整前四半期純利益が82億8千4百万円あり、キャッシュ・フローの増加要因である減価償却費が26億4千6百万円、仕入債務の増加額が25億円あった一方、キャッシュ・フローの減少要因である未払費用の減少額が32億8百万円、法人税等の支払額が25億9千6百万円、たな卸資産の増加額が24億3千2百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、51億7千2百万円と前年同期に比べ4億9千3百万円増加しました。これは、有形固定資産の取得による支出が26億4百万円、投資有価証券の取得による支出が20億7千1百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、3億2百万円と前年同期に比べ11億7千1百万円減少しました。これは、配当金の支払額が12億5千3百万円あり、短期借入金の純増加額が5億9千2百万円、長期借入れによる収入が5億4千万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月2日に公表いたしました通期の業績予想は変更しておりません。

※上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,924	24,311
受取手形及び売掛金	36,061	34,241
電子記録債権	10,524	12,467
商品及び製品	13,946	14,902
仕掛品	2,391	2,460
原材料及び貯蔵品	7,272	8,762
その他	7,316	7,913
貸倒引当金	△489	△595
流動資産合計	100,948	104,463
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,206	20,688
その他（純額）	25,628	25,676
有形固定資産合計	45,834	46,365
無形固定資産		
のれん	735	695
その他	1,927	1,816
無形固定資産合計	2,663	2,512
投資その他の資産		
投資有価証券	27,502	30,192
その他	6,879	6,306
貸倒引当金	△2,284	△2,431
投資その他の資産合計	32,096	34,068
固定資産合計	80,594	82,945
資産合計	181,543	187,409
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,593	12,096
電子記録債務	2,558	2,882
短期借入金	3,353	4,228
未払費用	23,734	20,299
未払法人税等	2,551	2,280
賞与引当金	2,092	2,237
役員賞与引当金	30	15
返品調整引当金	750	810
売上割戻引当金	2,380	2,280
その他	6,378	6,805
流動負債合計	53,422	53,935

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
固定負債		
長期借入金	1,765	1,835
退職給付に係る負債	4,410	4,166
債務保証損失引当金	789	1,084
その他	2,720	3,080
固定負債合計	9,684	10,167
負債合計	63,107	64,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,415	6,415
資本剰余金	5,737	5,737
利益剰余金	106,302	110,349
自己株式	△4,938	△4,935
株主資本合計	113,517	117,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,862	6,510
為替換算調整勘定	△439	△317
退職給付に係る調整累計額	△1,498	△1,443
その他の包括利益累計額合計	3,924	4,750
新株予約権	560	560
非支配株主持分	434	427
純資産合計	118,436	123,305
負債純資産合計	181,543	187,409

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	71,298	78,498
売上原価	29,787	33,202
売上総利益	41,511	45,295
返品調整引当金繰入額	—	60
返品調整引当金戻入額	20	—
差引売上総利益	41,531	45,235
販売費及び一般管理費	35,065	36,580
営業利益	6,465	8,655
営業外収益		
受取利息	97	115
受取配当金	359	180
その他	198	233
営業外収益合計	655	529
営業外費用		
支払利息	66	69
持分法による投資損失	168	286
その他	62	73
営業外費用合計	297	429
経常利益	6,822	8,754
特別損失		
投資有価証券評価損	329	2
関係会社株式評価損	6	0
貸倒引当金繰入額	360	170
関係会社貸倒引当金繰入額	3	3
債務保証損失引当金繰入額	—	295
特別損失合計	698	470
税金等調整前四半期純利益	6,123	8,284
法人税等	1,939	2,633
四半期純利益	4,184	5,650
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,191	5,647

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	4,184	5,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△96	634
為替換算調整勘定	△4,754	△98
退職給付に係る調整額	150	55
持分法適用会社に対する持分相当額	△251	△33
その他の包括利益合計	△4,951	559
四半期包括利益	△766	6,209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△693	6,216
非支配株主に係る四半期包括利益	△73	△7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,123	8,284
減価償却費	2,662	2,646
のれん償却額	178	104
貸倒引当金の増減額(△は減少)	80	91
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10	146
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△199	△320
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△509	60
売上割戻引当金の増減額(△は減少)	△90	△100
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	—	295
貸倒引当金繰入額	360	170
関係会社貸倒引当金繰入額	3	3
投資有価証券評価損益(△は益)	329	2
関係会社株式評価損	6	0
受取利息及び受取配当金	△456	△296
支払利息	66	69
持分法による投資損益(△は益)	168	286
売上債権の増減額(△は増加)	6,896	88
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,466	△2,432
仕入債務の増減額(△は減少)	1,811	2,500
未払費用の増減額(△は減少)	△6,419	△3,208
その他	△777	△241
小計	6,758	8,151
利息及び配当金の受取額	466	312
利息の支払額	△47	△42
法人税等の支払額	△3,675	△2,596
法人税等の還付額	23	22
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,524	5,846
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△433	△493
定期預金の払戻による収入	512	450
有形固定資産の取得による支出	△1,617	△2,604
無形固定資産の取得による支出	△93	△139
投資有価証券の取得による支出	△2,670	△2,071
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	7
短期貸付金の純増減額(△は増加)	189	30
長期貸付けによる支出	△674	△351
その他	107	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,679	△5,172

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△130	592
長期借入れによる収入	50	540
長期借入金の返済による支出	△378	△165
配当金の支払額	△1,139	△1,253
その他	123	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,474	△302
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,783	△125
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,412	244
現金及び現金同等物の期首残高	22,495	23,466
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	103
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,083	23,814

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	46,994	3,096	3,638	16,595	70,324	973	71,298	—	71,298
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,083	613	0	1,518	3,217	20	3,238	△3,238	—
計	48,077	3,710	3,639	18,114	73,542	994	74,536	△3,238	71,298
セグメント利益 又は損失(△)	4,927	△481	277	1,615	6,339	52	6,391	73	6,465

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額73百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	51,843	3,367	4,085	18,178	77,474	1,023	78,498	—	78,498
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,252	585	9	1,314	3,162	44	3,207	△3,207	—
計	53,096	3,952	4,095	19,493	80,637	1,068	81,705	△3,207	78,498
セグメント利益 又は損失(△)	6,413	△156	291	1,874	8,423	83	8,507	148	8,655

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額148百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。